

報告事項

1. 平成 23 年度人事・事業実施報告（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（1）会員数（平成 24 年 2 月 29 日現在）

	平成 23 年 4 月 1 日	平成 24 年 2 月 29 日
会 員	4,664 名 (正会員名 4,380 団体 284)	4,788 名 (正会員 4,501 名 287 団体)
賛助会員	12 社	12 社

＊滞納者 121 名を定款に基づき退会とした。（平成 23 年 5 月 31 日）

1) 平成 23 年度新入会員数（団体・賛助除く） 420 名

<職種別新入会者明細>

医師 97 名、歯科医師 17 名、保健師 27 名、助産師 10 名、看護師 91 名、
栄養士 7 名、養護教諭 1 名、保育士 10 名、教職・研究職 109 名、その他 50 名
不明 1

2) 平成 23 年度退会会員数（団体・賛助除く） 439 名

<職種別退会者明細>

医師 142 名、歯科医師 13 名、保健師 24 名、助産師 8 名、看護師 73 名、栄養
士 6 名、養護教諭 4 名、保育士 11 名、教職・研究職 63 名、その他 35 名、不明
60 名

参考

<職種別会員>

医師名 1,839、歯科医師 130 名、保健師 183 名、助産師 85 名、看護師 461 名、
栄養士 50 名、養護教諭 17 名、保育士 45 名、教職・研究職 877 名、その他 234
名、不明 580 名 合計 4,501 名

（2）人事について

1) 訃報

- ・高野 陽(タノ アキラ) 氏 名誉会員 平成 23 年 10 月 20 日 享年 73 歳
- ・笠置 綱清(カサヅ ツナキヨ) 氏 前鳥取県会長、元理事 平成 23 年 10 月 30 日 享年 73 歳
- ・鴨下 重彦(カモシタ シゲヒコ) 氏 名誉会員 平成 23 年 11 月 10 日 享年 77 歳

2) 平成 23 年度名誉会長の推薦

前川 喜平 氏 (マエカワ キヘイ)

3) 平成 23 年度名誉会員の推薦

福島県 鈴木 仁 氏 (スズキ ヒトシ)
栃木県 布川 武男 氏 (ヌカワ タケオ)

埼玉県	佐々木 望 氏	(ササキ ノゾム)
東京都	山口 規容子 氏	(ヤマぐち キヨコ)
鹿児島県	銚之原 昌 氏	(ホノハラ マサシ)

4) 地方協会長交代

(地方協会)	(旧)	(新)
東京都	庄司 順一(ショウジ ジュンイチ)	→ 横井 茂夫(ヨコイ シゲオ) (代行)
山梨県	田中 均(タカ ヒトシ)	→ 山縣 然太朗(ヤマがた センタロウ)
宮崎県	布井 博幸(ヌノイ ヒロユキ)	→ 高木 純一(タカギ ジュンイチ)
福井県	眞弓 光文(マユミ ミツフミ)	→ 重松 陽介(シゲマツ ヨウスケ)
広島県	岡崎 富男(オカザキ トミオ)	→ 新田 康郎(ニッタ ヤスロウ)
京都府	中畑 龍俊(ナカハタ リュウシュン)	→ 細井 創(ホソイ ハジメ) (代行)
新潟県	内山 聖(ウチヤマ マコト)	→ 齋藤 昭彦(サイトウ アキヒコ)

(敬称略)

(3) 平成 23 年度総会

1) 第 1 回総会

平成 23 年 6 月 19 日(日)、ベルサール九段(東京)において、社員総数 221 名(理事 27 名、代議員 194 名)出席者数 35 名、委任状 148 通であり総会は成立した。議長に関口 進一郎氏を選出し、議事録署名人に加藤 則子(埼玉県)、並木 由美江(埼玉県)両氏を指名し開会した。

下記の議案が承認された。

《報告事項》

1. 平成 22 年度人事・事業実施報告
2. 日本小児保健協会学術集会開催計画
3. その他

《審議事項》

1. 平成 22 年度収支決算(案)ならびに監査報告
2. 平成 23 年度事業計画(案)
3. 平成 23 年度収支予算(案)
4. 新定款(案)承認の件
5. 現行役員任期の件
6. 次期役員改選の件
7. 第 60 回日本小児保健協会学術集会 会頭について
8. その他(総会次第の件)

2) 第 2 回総会

平成 23 年 9 月 2 日（木）、名古屋国際会議場（名古屋）において、社員総数 221 名（理事 27 名、代議員 194 名）出席者数 52 名に、委任状 105 通を加え社員の過半数に達したことを報告した。議長に大西文子会頭を選任し、議事録署名人に小枝達也（鳥取県）、太田百合子（東京都）両氏を選任し開催した。

下記の議案が承認された。

《報告事項》

1. 平成 23 年度人事・事業実施報告
2. 各委員会活動報告
3. 公益社団法人移行進捗状況
4. その他

《審議事項》

1. 平成 23 年度修正予算(案)
2. 定款等の改定について
3. 特定資産の取崩し積替えの件
4. 平成 23 年度名誉会長の推薦
5. 平成 23 年度名誉会員の推薦
6. 協会活動助成について
7. その他

3) 臨時総会

平成 23 年 12 月 10 日（土）、東医健保会館（東京）において、衛藤会長が、平成 23 年度臨時総会の開催を宣し、定款第 30 条に基づき総会議長として荒川浩一氏を選任した。社員現在数 221 名うち出席 29 名、委任状 172 通、定款 32 条の規定により本総会は成立した。定款第 34 条に従い、議事録署名人 2 名、石川県の伊川あけみ氏及び埼玉県の並木由美江氏が選出された。

下記の議案が承認された。

《報告事項》

1. 公益社団法人移行申請状況進捗
2. その他

《審議事項》

1. 平成 23 年度代議員選任
2. 平成 23 年度理事選任
3. 平成 23 年度監事選任
4. 平成 23 年度執行役員選任

（４）役員会等の開催

理事会 3 回、常任理事会 4 回、編集委員会 6 回、予防接種・感染症委員会 1 回、栄養委員会 2 回、発育委員会 1 回、平成 22 年度乳幼児身体発育調査小委員会 1 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 5 回、学校保健委員会 3 回、平成 22 年度幼児健康度調査委員会 3 回を開催し、本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

(5) 日本小児科連絡協議会

- 1) 日本小児科連絡協議会 5 回（日本小児科学会・日本小児科医会との合同で開催）
- 2) 合同委員会
 - ・「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 3 回
 - ・自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 3 回
 - ・発達障害への対応委員会 3 回
 - ・第 6 回子どもの食育を考えるフォーラム 1 回

(6) 外部団体委員派遣

- ・予防接種推進専門協議会（全体委員会）1 回
- ・予防接種推進専門協議会（代表者会議）5 回

(7) 日本小児保健協会学術集会の開催

- 1) 第 58 回（平成 23 年）日本小児保健協会学術集会
 - 会頭：大西 文子 教授（日本赤十字豊田看護大学看護学部小児看護学）
 - 日程：平成23年9月1日（木）2日（金）3日（土）
 - 会場：名古屋国際会議場
 - テーマ：「子どもの育ちを見守り、地域で暮らす子どもと家族にできること！」
 - *参加者数 1,121 人

(8) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」71 巻 2 号まで発刊した。
- ・70 巻記念号を発行した。

(9) 講演会等の開催

- 1) 支部研修会開催助成
 - ・「第 28 回兵庫県小児保健協会総会・シンポジウム」 兵庫県
 - ・「平成 23 年度栃木県小児保健研修会」 栃木県
 - ・「埼玉県小児保健協会第 75 回研究会」 埼玉県
 - ・「第 50 回 岩手県小児保健学会」 岩手県

- ・「第 14 回奈良県小児保健学会」 奈良県
- ・「平成 23 年度神奈川県母子保健指導者研修会」 神奈川県
- ・「平成 23 年度 愛知県小児保健協会学術研修会」 愛知県

2) DENVERⅡーデンバー発達判定法ー判定技術養成講習会を 2 回開催した。

- ・平成 23 年 5 月 28 日（土）和光堂株式会社（東京） 参加者 43 名
- ・平成 23 年 9 月 1 日（木）名古屋国際会議場（愛知） 参加者 58 名

（10）小児保健セミナーの開催

- 1) 第 28 回小児保健セミナー「小児保健と関連領域」を、平成 23 年 6 月 19 日（日）に ベルサール九段に於いて開催し、参加者数は 111 名であった。

（11）市民公開セミナーの開催

- 1) 第 2 回市民公開セミナー「自閉症をめぐって：幼児期の対応を中心に」を、平成 23 年 10 月 1 日（土）にラフレさいたまに於いて開催し、参加者数は 213 名であった。

（12）小児救急電話相談スキルアップ研修会の開催

- 1) 基礎コース ＊参加者 97 名
日時：平成 23 年 9 月 1 日（木）
会場：名古屋国際会議場（愛知県）
- 2) 実践コース ＊参加者 28 名
日時：平成 23 年 11 月 23～24 日（水・木）
会場：ウインクあいち（愛知県）

（13）協会活動

- 1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、栄養委員会、発育委員会、平成 22 年度乳幼児身体発育調査小委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、健やか親子 21 協議会第 4 課題のそれぞれが本協会の目的のために活動した。

2) 地方協会活動

- 全国 47 地方協会は、総会・研修会の開催、機関誌の発行等を行った。
（平成 23 年度地方協会活動報告は、小児保健研究第 71 巻 4 号に掲載予定）

3) 協会活動助成について

《研究助成》

○佐々木 瞳(ササ ヒトミ)氏・他(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座)

「一地方都市における乳児を持つ父親の育児の自信」

～第一報：自信が低い頻度と育児状況の関連～

～第二報：自信を低くするリスク要因の検討～

○清水 佐知子(シミス サチコ)氏・他(大阪大学大学院医学系研究科数理保健学教室)

「日本版幼児睡眠質問票の開発」

《実践活動助成》

○森内 浩幸(モリウチ ヒロユキ)氏・他(ダウン症候群フォーラム実行委員会)

「ダウン症候群トータル医療ケア・フォーラム」

(14) 公益社団法人移行進捗報告

(15) 東日本大震災に対する活動

震災直後の対応

- 1) 被災地への支援物資輸送経路が確立していない3月中旬に、東京都の関係機関の協力を得て、レトルトベビーフード2,400食を送付した。
- 2) 日本赤十字社を通じて、義援金を拠出(100,000円)
- 3) 小児保健の立場から、「災害時乳児栄養情報」をHPに掲載(栄養委員会)
- 4) 被災者への支援物資提供を各地方協会・役員・委員に要請した。
- 5) HPへお見舞い記事掲載

委員会・フォーラム等

- 1) 「緊急フォーラム ―この大災害に小児科医はどう立ち向かうか」

日時：平成23年4月17日(日)13時～

場所：東京大学鉄門記念講堂

主催：日本小児科連絡協議会

- 2) 震災対応合同委員会

第1回 日時：平成23年4月8日(金)18時～

場所：日本小児科学会

第2回 日時：平成23年6月15日(水)19時～

場所：日本小児科学会

- 3) 「東日本大震災フォーラム：

被災地における子どもの成長発達を長期的に見守るために」

日時：平成 23 年 9 月 2 日（金）

場所：名古屋国際会議場（学術集会時 愛知にて）

4) 第 2 回東日本大震災中央子ども支援センター協議会

日時：平成 24 年 3 月 6 日（火）

場所：日本子ども家庭総合研究所(東京)